

横芝

広報

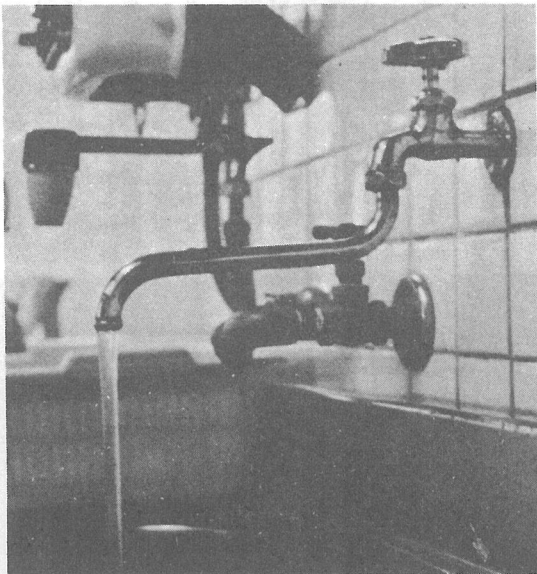
横芝町の人口と世帯

〈4月30日現在〉	
人口	12,649 (-21)
男	6,110 (-5)
女	6,539 (-16)
世帯数	3,101 (0)
()内は前月比	

地下水は心配です 水の確保は今

六月一日から七日までは全国水道週間です。この目的は国民が水道に対する理解と関心をたかめ、公衆衛生の向上と生活環境の改善を図るために、水道事業の健全な発展を推進するよう実施されるものです。日常の飲料水には、病原体が含まれてはならないことは勿論です。しかし、私達はしばしば生水を直接飲用し、料理、皿洗いはもとより、口をすすぎ、手を洗うなど、水道水は健康と密接に結びついています。これらの病原体のなかでも、とくに消化器系伝染病であるコレラ、チフス、赤痢などの病原菌は最も恐ろしいものです。したがって、これらの病原菌はいつさい含まれてはなりません。また、この病原菌は一般には人間や家畜のし尿から排泄されます。そこで、私達が日常使用している水を松尾保健所の最近の調査結果から見ると、五十五パーセントが飲用不適という結果が出ています。この外に、有毒な物質として井戸水の中に含まれる恐れのあるものには、特殊な工場排水や農薬などに含まれるシアン、水銀および有機リンがあります。これらの有毒物は、たとえ少量でも人体にきわめて有害であり、絶対にあつてはなりません。また鉄、マンガンは一般的に地下水などに地質の影響をうけて含まれていることが多く一定限度以下の場合は無害であり人体にとつても鉄分は必要なくらいです。しかし多量になると水に色が着いたり煮沸すると沈でん物を生じ、洗たく物に着色したり、水に味がついたりします。私達が常用している生活用水はいつどこで汚染されるかわからないのが現状です。このような心配をなくし私達の健康を守るためには、完全に浄化された水道水にたよるのが一番安全です。

このように、横芝町でも上水道の実施計画をつくるため、五月に地区役員さんを通じて、水道需要調査を行いました。現在までに回答を頂いたところでは、意外に水道を必要とする家庭が少なく、PRの必要



性を強く感じているところがあります。市街地は申すに及ばず、農村地帯でも水の需要量は自家用水道の普及により、一段と増しています。反面下水道処理の不備による地下浸透式が多いため地下水浸透させた水を更に汲み上げて飲料水にする、という悪じゆんかんがおります。農村地帯では、家畜の糞尿による汚染も考えられ、飲料水の将来は必ずしも安心ではありません。こうしたことから飲料水としての水は何としても水道に頼るのが健康であり文化的であると考

これが三度目の 五年年金

明治生れ対象

国民年金では制度発足当初に「十年年金」を、そしてその後「五年年金」を設けて、当然加入の対象にならない明治三十九年四月二日から明治四十四年四月一日までの間に生まれた人々に、年金を得る機会をひろげました。

「五年年金」への加入が再開されることになりました。この概要は次のとおりですが、もちろんこれが最後の機会となりますので、対象になる人はぜひ加入してください。

加入できる人
明治三十九年四月二日から明治四十四年四月一日までに生まれた人(昭和三十六年四月一日において五十才をこえ五十五才をこえない人)ただし、厚生年金や共済組合などに加入している人、あるいはそれらの制度から老令、退職年金を受けられる人は除く。
加入の申し出は
昭和四十八年七月一日から昭和四十九年三月三十一日まで役場の国民年金係に申し出ていただきます。
注 この記事は、今国会に提出されているもので、確定したものではありません。



生産団地樹立計画区分

団地名	団地数	規模	内容
露地野菜	3	10ha以上	地区毎に1団地設置、ブロッコリー、スイートコーン、人参、ネギ等
施設野菜	2	2万㎡	大総地区1、横芝上界地区1、メロン、トマト、キュウリ、スイカ等
植木	2	10ha	大総地区1、横芝上界地区1、マキ、マテバシイ、ツゲ、ツバキ等
果樹	2	10ha	栗山を中心とする地帯(ブドウ)、坂田を中心とする地帯(ウメ)
水稲	2	20ha	大総地区1、横芝上界地区1
特産物	3	10ha	地区毎に1団地、落花生、ばれいしょ、たばこ
畜産	6	養豚 3,000頭 酪農 300頭 肉牛 300頭	養豚、酪農、肉牛各大総1、横芝上界1
養蚕	1	10ha	大総地区、栗山の一部 桑園

高能率な生産団地

整備計画を町は国へ提出
農業生産体制の組織化と団地化を目標に

町は今後の農業を団地化することによって、生産性の高い近代的なものにしていくと、生産団地整備計画を樹立しました。
この計画は、昭和四十七年

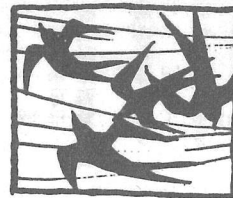
町は今後の農業を団地化することによって、生産性の高い近代的なものにしていくと、生産団地整備計画を樹立しました。
この計画は、昭和四十七年

町は今後の農業を団地化することによって、生産性の高い近代的なものにしていくと、生産団地整備計画を樹立しました。
この計画は、昭和四十七年

二二万五千円の年金で老後を

農業者年金制度が昭和四十六年から発足しています。この制度では、月額七五〇円の保険料を納め、月額七五〇円の年金が支給されます。農業者年金は、農業経営者の老後の生活安定のためにつくられたものです。該当者は、もれなく加入して老後の保証を確保して下さい。

誰れが加入するのか
農業経営者は、次の三つに該当する場合は当然加入しなくてはなりません(当然加入)
①国民年金の加入者
②昭和四十六年一月一日現在で五十五才未満の者
③50アール以上の農地を有するもの。
この他に、50アール以上の耕作をしている農家の後継ぎで、農業に従事している20才以上の者及び大正五



年金給付の水準(月額)

給付の種類	保険料納付済期間				
	5年	20年	25年	30年	
60歳以上 65歳未満 の給付	円 8,000	円 16,000	円 20,000	円 24,000	
65歳以降 の給付	経営移讓年金	円 800	円 1,600	円 2,000	円 2,400
	農業者老齢年金	1,000	4,000	5,000	6,000
	国民年金所得比例給付	900	3,600	4,500	5,400
	国民年金定額給付	(15年) 6,000	(30年) 9,600	(35年) 11,200	(40年) 12,800
	計	8,700	18,800	22,700	26,600

注：国民年金の定額給付は、定額部分への加入期間が農業者年金への加入期間より10年長い人の場合の計算である。

年一月二日から昭和九年一月二日迄に生まれた人については優遇措置がとられ、特別に加入することが出来ます。
保険料は
農業者年金分 七五〇円
この他に
国民年金定額分 五五〇円
所得比例分三五〇円
合計 一、六五〇円
○経営移讓年金
規定の保険料を納付してあるものが六十五才に達する以前に農業経営を後継者に譲ったとき、経営移讓年金が受けられます。但し、六十才以前に譲った場合でも受給は六十才からです。この年金も六十五才以降は十分の一に減額されますが国民年金や農業者老令年金が加算され、高額の給付を受けられます。
○農業者老令年金
農業者年金の加入者は、すべて六十五才に達した日から国民年金と合わせて支給されます。この他に脱退死亡一時金があります。

横芝の碑 (その九)

谷部田のみちしるべ

昔は観光旅行のことを物見遊山と呼んでいました。この辺りでは三里塚等に日帰りで見に出かける程度で、それ以上の旅行は大抵信仰を主とした伊勢参宮とか御岳山詣などでした。現在の様に交通機関も発達していなかった頃のことですからその旅はなかなか大変なもので、これが無事に済むと自分が信仰する寺や社の境内若しくは村の入口等に参詣記念碑を建てたりしたものです。その中に「折角の神信心の記念なのだから、何か人のためになるようにしたい」というので、この碑に道しるべを刻んで村境や道端に建てる人達もでてきました。永い旅の疲れに、ふと見つけた道端の碑に刻まれた文字は「もうすぐ銚子だ」「ようやく横芝へ着いた」等と人々をどんなにか慰め、また元気づけたか分りません。時には何か想い出の場所となつて心に残ったかもしれせん。そうした碑も、時代の変遷によつて村落の形や道筋が変るのに連れて碑の建っていた道が裏通りになつていたり、拡張さ

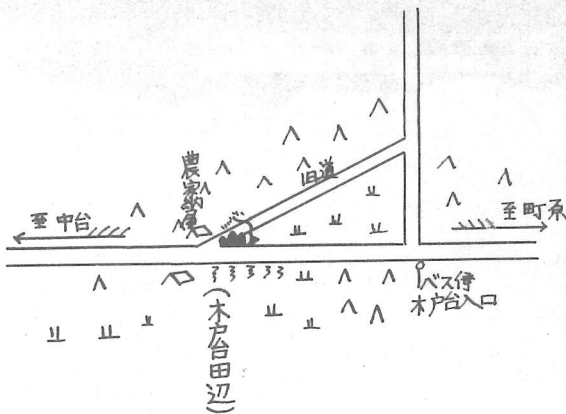


れた道路の端に倒れて風雨に

曝された果てには埋もれたりして、次第に姿を消してしまふ極く稀にしか見かけることができません。ところが、木戸台谷部田の県道沿には天保十一年、明治二十八年、明治四十四年にそれぞれ建てられた道しるべの碑がそのまま残っているのです。木戸台入口から中台方面へ約五十メートル先の右手に桜の古木がありますが、その根元に建っているのです。元此所が木戸台の入口であった

というのですが荒れるに任せて生い繁る笹藪の影に誰れにも顧みられずひっそりとたたずむ様に見えるその碑の字体や標示の変り方にも時代の遷りや標がまざまざと感ぜられてきます。写真の中央の低い碑が天保年間のもので、正面右に天下泰平、奉納西国三十三所供養塔、天保十一年八月建之、東さかた、よこしば、ちようし、西志巴山、なりた、さくら、北さきの台、たこ、中むら、さわら、(中むらというのは八日市場の附近の地名だということです。左手に台座だけ見えている碑には、正面、奉養供養碑 明治二十八年乙未七月、東さかた、

よこしば、九十九里道、西志巴山、なりた、東京方面、北、牛尾、たこ、佐原(天保の銚子と佐倉が消えて九十九里道、東京方面という文字が出てきています)中央に見える碑には、正面、日光信濃拝礼記念碑、明治四十四年三月建、東、坂田、横芝道、西、芝山、成田道、北、木戸台、牛尾、船越、多古道(総て漢字で刻まれています。九十九里道、東京方面、佐原等の文字が消え、船越が出て来ています) 本種取材にあたり、木戸台平野栄次郎氏のご協力をいただきました。(給食センター小沢所長寄稿)



きれいな遊園地で思う存分子供達を遊ばせてやろうと、月に二回、遊園地の掃除をしている奇特な方がいます。この善行の主は、古川に住む鈴木昇さん(79才)です。この善意は、部落民や子供達に大変喜ばれており、部落では、社会福祉協議会に申し出て感謝状をもらうことになっています。

善行の老人

たばこは
町内で買ひましよう

たばこ20本で約15円が
横芝町の収入になります

世界の願い
交通安全

交通三悪絶滅

寡婦控除の拡大など

48年度の税法改正で

昭和四十八年度の税制改正に伴って、住民税の所得控除額等が次のように引き上げられ、今年度から適用実施されます。(カッコ内は改正前額)

- 一、所得控除額の引上げ
 - 1 基礎控除額十六万円 (十五万円)
 - 2 配偶者控除額十五万円 (十四万円)
 - 3 扶養控除額 十二万円

畜産団地連合センターでは、畜産公害をなくすため、し尿汲取用バキューム車とトレンチャー(溝掘機)を購入して畜産家の利用を希望しています。

家畜もバキューム車使う



使用申込み
山武農協横芝事業所
役場産業振興課
使用料
バキューム車 四千元
トレンチャー 四千元

(燃料は自己負担)
尚、農地等に散布する際は人家の近くをさけ、散布後は充分覆土し、殺虫剤をかけて下さい。

- 二、専従者控除額の引上げ
白色申告者の専従者控除額 一人 十七万円 (十六万五千元)
- 三、配偶者控除及び扶養控除の適用要件である所得限
度額 (十二万円)但し、配偶者が不在の場合の一人目十四万円(十二万円)その他に七十才以上の老人を扶養する場合は、十四万円
の控除がされます。
4 寡婦、勤労学生、障害者
老年者の各控除額十二万円(十万円)特別障害者控除額十四万円(十二万円)
- 5 生命保険料控除二万七千五百円 (前年同)
- 6 医療費控除限度額百万円 (前年同)
- 四、納税義務者である障害者未成年又は寡婦についての非課税の範囲が年所得四十三万円(三十八万円)まで引き上げられました
又、寡婦控除の適用範囲が拡大され、夫と死別後再婚していないもので扶養親族の有無にかかわらず所得百五十万円以下は適用になります。
尚、今月から町県民税、固定資産税、国民健康保険税の納税が始まります。(納税は六月から明年一月までの八期です)

総務員芳名簿

(○印は特別総務員)

大総地区
木戸谷 町原 小堤 寺方 曾根合 於幾 坂田 取立 長倉 姥山 遠山 中台 牛熊

菱木武 石井要作 永藤尚己 萩原定司 小川清 鈴木新治 伊藤伝 小関旭 野本真 柳橋安雄 伊藤進 五木恒夫 伊藤恒夫 鈴木貞雄

谷台 横芝地区
上町 二 三 四 本町 一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九 二十 二十一 二十二 二十三 二十四 二十五 二十六 二十七 二十八 二十九 三十 三十一 三十二 三十三 三十四 三十五 三十六 三十七 三十八 三十九 四十 四十一 四十二 四十三 四十四 四十五 四十六 四十七 四十八 四十九 五十 五十一 五十二 五十三 五十四 五十五 五十六 五十七 五十八 五十九 六十 六十一 六十二 六十三 六十四 六十五 六十六 六十七 六十八 六十九 七十 七十一 七十二 七十三 七十四 七十五 七十六 七十七 七十八 七十九 八十 八十一 八十二 八十三 八十四 八十五 八十六 八十七 八十八 八十九 九十 九十一 九十二 九十三 九十四 九十五 九十六 九十七 九十八 九十九 一百

鈴木泰治 久保田貞雄 鶴沢実 岩井幸博 川島精之 小堀四郎 加藤栄 早川秀夫 清水登起 伊野文雄 熱田辰夫 石井千秋 桜井東男 水野忠一郎 斉藤泰次 堀田静之進 金杉雄幸 向後実 鈴木恒一

若梅徳治 中田太市 椎名六郎 藤井秀一 前川静江 若梅三好 齊藤大七 沢田弘 寺本茂一郎 渋谷力 高安鏡三郎 押尾義治 押田芳春 百原和明 笹川作仁 笹川作仁 嘉瀬実 滝田治夫 押尾誠 芹川久

宮前 荒場 三本松 立合 二 南川岸 一 新島 道貫 新郷 新田 荒場 三島 北清水 入間 三軒家 西 関場 新青 海保武徳 海保豊 早川力二 浅野虎雄 大木治男 小川藤衛 海保世民 伊東甲子雄 木島敏夫 秋山千秋 秋山麻秋 秋山馨 伊藤秀哉 林公明 鈴木栄 渡辺春雄 伊藤幸夫 伊藤良一 川島徳夫 伊藤弥寿生 芹川栄



横芝句会五月例会

土屋栗水 葉桜に空缶の群れ光りおり
加藤庄長 無性髻落とすひまなし今日立夏
三枝句城 葉桜や銅像の背に陽の残る
古谷紅葉 葉桜に覆われ友の歌碑崩し
奥山萌古 夏立つや山は粧い日々濃し
石川奇水 葉桜に果箱掛けある幼稚園
木下石菓子 校庭の防犯灯や葉桜に
若梅あやめ 軸替えて床に立夏の客を待つ
佐久間実枝子 植え上げのお日待ちぶれや隣
原ひさし 書は躍る錆朱の壺のあやめか
藤代ゆう 若梅あやめ 植え上げのお日待ちぶれや隣
佐久間実枝子 夏立ち髪形を変えにけり
原ひさし 併着て若返る声田を植えたる
佐久間実枝子 孫達の半袖かろし夏来る
次回六月十日(日)一時
青蛙 夏の川 四句